

第5回

問1 $-3-(-5)$
を計算しなさい。2019 岡山

問3 次の度数分布表は、あるクラス20人の学習時間を整理したものである。(1)、(2)を求めなさい。2018 岡山

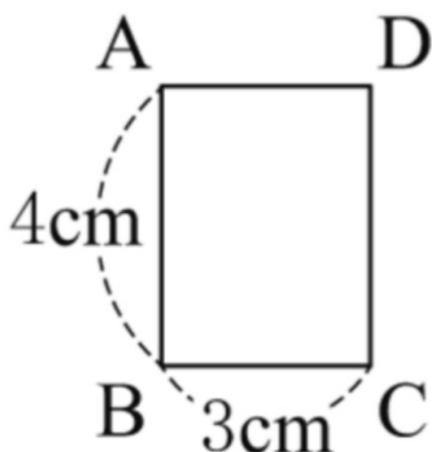
学習時間(分)	度数(人)
0 以上 ~ 30 未満	1
30 ~ 60	2
60 ~ 90	7
90 ~ 120	6
120 ~ 150	2
150 ~ 180	2
計	20

(1) 学習時間の最頻値

(2) 学習時間の平均値

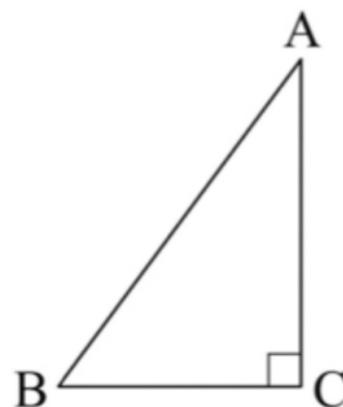
問2

図のような、 $AB=4\text{ cm}$ 、 $BC=3\text{ cm}$ の長方形ABCDがある。この長方形を、辺DCを軸として1回転させてできる立体の体積を求めなさい。2019 岡山



問4

図のような、 $AC=4\text{ cm}$ 、 $BC=3\text{ cm}$ 、 $\angle ACB=90^\circ$ の直角三角形ABCがある。この直角三角形を、辺ACを軸として1回転させてできる立体の体積を求めなさい。2017 岡山



第5回

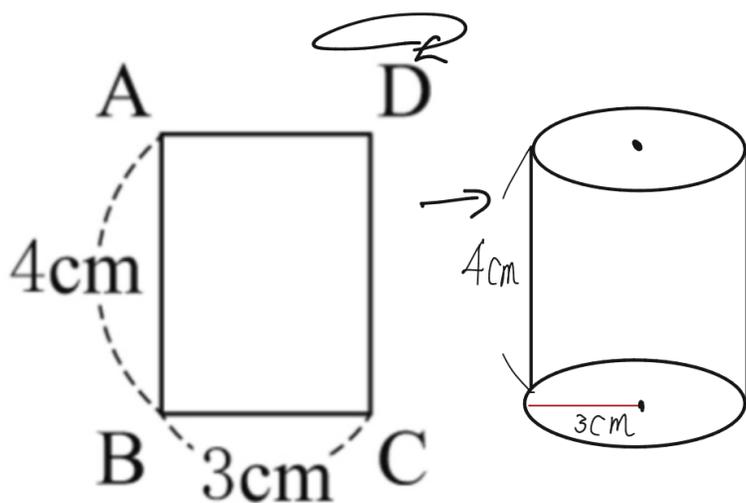
問1 $-3 - (-5)$
を計算しなさい。2019 岡山

$$= -3 + 5$$

$$= 2$$

問2

図のような、 $AB=4\text{ cm}$ 、 $BC=3\text{ cm}$ の長
方形 ABCD がある。この長方形を、辺 DC
を軸として 1 回転させてできる立体の体積
を求めなさい。2019 岡山



$$3 \times 3 \times \pi \times 4 = 36\pi \text{ cm}^3$$

底面積 × 高さ

↑ 円の面積 = 半径 × 半径 × π

問3 次の度数分布表は、あるクラス 20 人
の学習時間を整理したものである。(1)、(2)
を求めなさい。2018 岡山

学習時間(分)	度数(人)
0 以上 ~ 30 未満	15分 × 1 = 15
30 ~ 60	45分 × 2 = 90
60 ~ 90	75分 × 7 = 525
90 ~ 120	105分 × 6 = 630
120 ~ 150	135分 × 2 = 270
150 ~ 180	165分 × 2 = 330
計	20

階級値を出す

合計で
1860
↓
平均は
 $1860 \div 20$
 $= 93$ 分

(1) 学習時間の最頻値

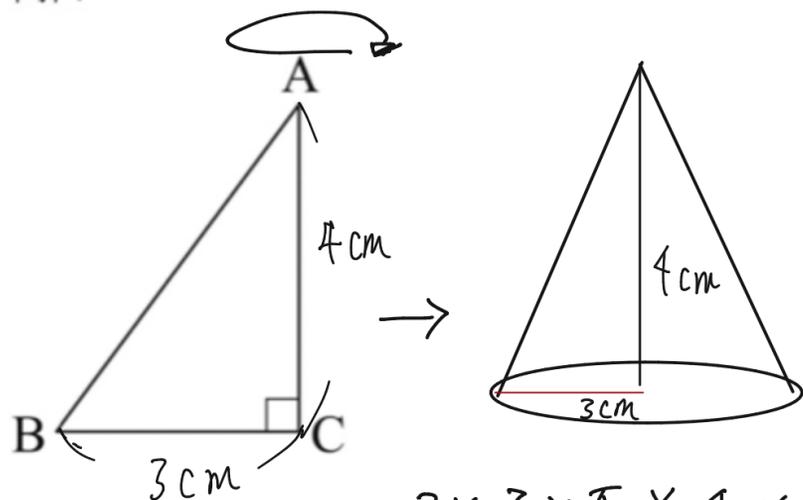
75分
↑ 度数が最も高い

(2) 学習時間の平均値 60分~90分
の中間を求める

93分

問4

図のような、 $AC=4\text{ cm}$ 、 $BC=3\text{ cm}$ 、 \angle
 $ACB=90^\circ$ の直角三角形 ABC がある。この
直角三角形を、辺 AC を軸として 1 回転させ
てできる立体の体積を求めなさい。2017
岡山



$$3 \times 3 \times \pi \times 4 \times \frac{1}{3}$$

$$= 12\pi \text{ cm}^3$$

↑
この体積